

2007.2.20

夢の

中野区公益活動助成事業

「こども・まち・アート」交流見本市

キッズミュージアム 2007

2007年 3.21~25

事業企画書



特定非営利活動法人 ZERO キッズ

<http://www.c-c-cnet.org>

TEL & FAX 03-5385-9068

Eメール info@c-c-cnet.org

〒164-0012

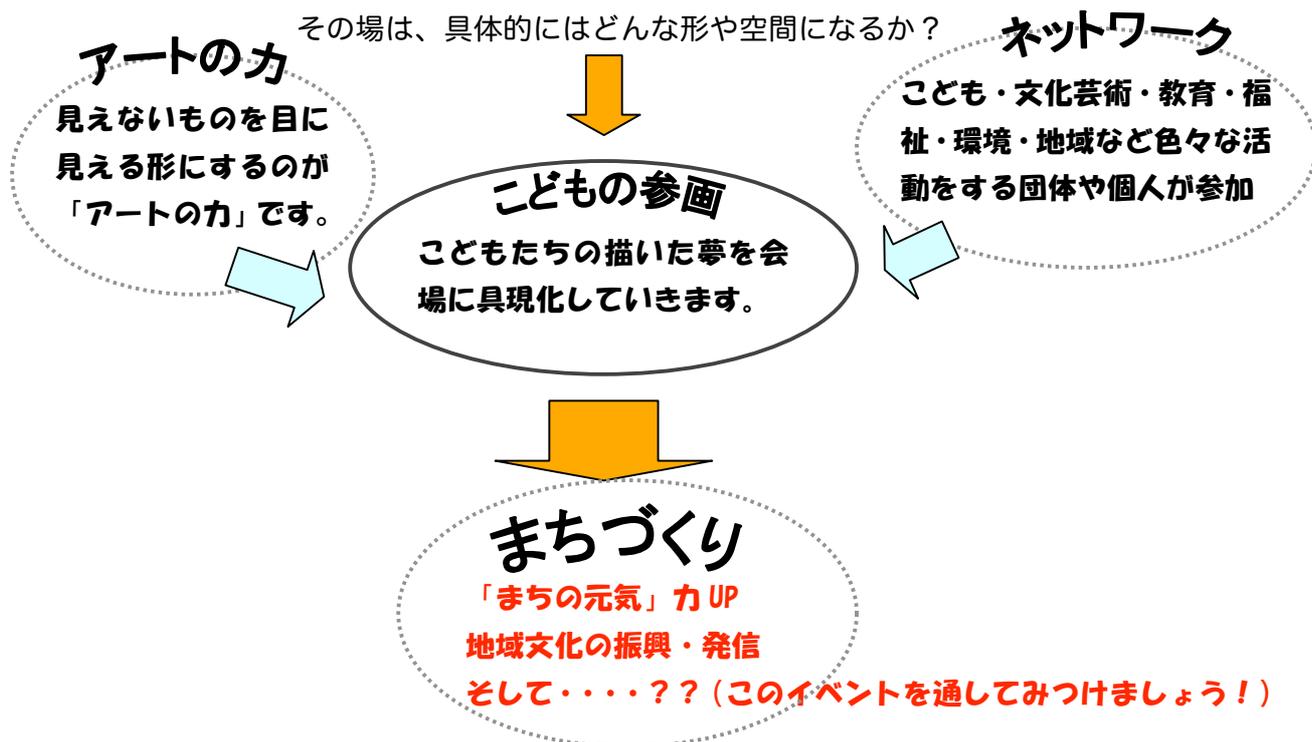
東京都中野区本町 5-27-3-103

■ 趣旨と目的 ■

キーワードは

「こどもの参画」「アートのか」「ネットワーク」
を「まちづくり」へ

こどもたちの、こどもたちによる、
こどもたちのための拠点とは、どんな場であるのか？
その場は、具体的にはどんな形や空間になるか？



< イベント開催にあたって >

今回の「夢のキッズミュージアム」では、

- ① 中野のまち、そして各地で「まち・こども・アート」にかかわるグループが出合い、お互いを知る場をつくります。「共有の場」づくり、一緒につくることからネットワークづくりにつなげます。
- ② 「こども」の持っている力に着目し、こどもの参画により「こども」の力をまちづくりに活かすことを提案します。
- ③ 「こども」に向ける大人の温かい視線を未来に向けていきます。
- ④ 「芸術文化」により世界中の人たちの幸せや平和への祈りを発信し、実現に向けて前進していきます。
- ⑤ こどもたちにとってよりよい時間と空間、仲間のある環境を創っていきます。

■ 事業概要 ■

子どもたちが描いた「夢のキッズミュージアム」が、春休みの5日間なかのZERO西館の美術ギャラリーに創出されます。そこは、森の中？空の上？異次元空間・・・？

2006年11月からワークショップを重ねて考えた空間が、子どもと大人の手で創り出されていきます。森の中には、様々なNPOや個人の展示コーナーがあり、様々な団体・個人のパフォーマンスも行われます。空の上は不思議なキッズカフェ、謎の異次元空間からは何が飛び出すか・・・？

最終日には朝から演劇ワークショップ。ここでつくった即興劇を披露しながら、午後のフォーラムが始まります。テーマは「子ども・まち・アートのか」、まちづくりやコミュニティアートの専門家にも参加してもらいます。

この五日間、子どもも大人も一緒につくって、参加して、楽しんで、子どもたちの想像力から生まれた世界を、夢を、アートの力で目に見えないものを形にします。

■ 主催 ■ 特定非営利活動法人 ZERO キッズ

■ 後援 ■ 中野区、中野区教育委員会、東京都社会福祉協議会、東京都小学校 P.T.A 協議会、音楽教育振興財団、中野区立小学校 PTA 連合会、中野区立中学校 PTA 連合会、東京都子ども会連合会、中野区社会福祉協議会、JCN 中野

■ 協力 ■ あすとらいあ・すぴりっつ、いせフィルム、映像館、エイブル・アートジャパン、演劇企画くすのき、小田原女子短大、オルタスジャパン、(株)音楽之友社、NPO Kiss、グルッポディウイズ、劇団仲間、劇団ほっぴい、劇団未来劇場、子育て応援団ゼロプロジェクト、NPO 杉並フットボールクラブ (SFC)、NGO ストリートチルドレンを考える会、NPO すまいの相談室、TAM オフィス、NPO 地域学習協会、伝承文化研究所、東京えびす連、東京環境構造センター、東京土建組合中野支部、どんきい劇場、中野元気力発伝所、中野ハナミズキの会、(社)日本オーケストラ連盟、ぱりちゃんず、ぱらぱらマンガ友の会、NPO パントマイムクリエイション・マリオ、ほねぶとネット、ma-navisioners、ミニ・ミュンヘン研究会、(財)民間放送教育協会、ヨイサの会、(株)ロッセ、Art Dolce・・・
(これからさらに増えていく予定)

■ 日時 ■ 2007年3月21日(水・祝)～23日(金)参加型の設営・準備作業
3月24日(土)25日(日)一般公開

■ 会場 ■ なかのZERO西館美術ギャラリー1・2(1F 175㎡、2F 105㎡)

■ スケジュール ■

<準備期間>

★3/19～3/23 搬入・会場設営-----楽しみながらつくる！

1. 子どもたちによる夢のキッズアイランドの実現。
2. アートNPOや個人のブースを設置する。(3/21 夕方～ 交流会)

設置にあたっては、出展者及び子どもたちの共同製作で、壁画やダンボールによるテーブル、

ブースや看板、表示の製作を行う。

<一般公開>

★3/24 (土)

10:00~18:00 ブース展示、1 演目 1 時間弱のパフォーマンスや上映会、ライブ等

★3/25 (日)

10:00~17:00 ブース展示

9:30~12:30 演劇ワークショップ

14:00~16:30 「こども・まち・アート」フォーラム

コーディネーター：中埜博 氏 (コミュニティデザイナー)

パネラー：・鳥越けい子氏 (聖心女子大学教授・サウンドスケープ研究家) 柄田明美氏 (ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室研究員) 目黒実氏 (九州大学ユーザーサイエンス機構特任教授・篠山チルドレンズミュージアム副館長) 大多和勇氏 (演劇企画くすのき主宰、東京都生涯学習審議会委員)

17:00~ 片づけ

★3/26 (月) 片づけ・搬出

<開催に向けてのこれまでの経緯と今後の事前準備>

2006.11/12 (日) ワークショップ「こども・まち・アートの力」 中埜博氏・山口敦氏

- ・こどもたちが一番楽しいと思えることを目に見える形にする
- ・大人もこどもも「わくわくする気持ち」を感じる
- ・自分たちの思いを実現する方法をみつけていくことにつなげる

2006.12月：会場決定

2006.12/23 (金) 13~15 時 こどもの企画会議

2007.1月：プログラム決定、広報ちらし作成準備開始、参加団体の呼びかけ

2/25：協力者、協力団体と打ち合わせ

以降、随時こどもたちの壁画、大きな木等の作業、運営委員を中心とした準備作業

■実施体制■

プロデューサー：佐々木 香 (特定非営利活動法人 ZERO キッズ理事長)

ディレクター：中埜 博 (コミュニティデザイナー)

アシスタント・ディレクター：山口 敦 (都市計画プランナー)

運営スタッフ：小山郁子、倉橋文子、能勢美香、斉藤ひろみ、長瀬涼子、亀岡文江、丸山紀子、川田冬紀、鈴木美佐子、倉田恵美、沼田澄子、嶋田恵美
ZERO キッズママ&パパの会

アドバイザー：斉藤睦 (地域総合研究所)、三好良子 (人材育成コンサルタント)

協力：大多和勇、谷川賢作、太田富夫、早川元啓、池田邦太郎、高橋悦子、長谷部暢子
中村功、野口博志、矢田美帆、渡部瑞穂

■会場設営企画案（次頁会場イメージ図参照）■

- 1) 1階ギャラリーは、ふしぎ森
- 2) 中2階は、雲の上のキッズカフェ
- 3) 2階は、まれびと※の里（天上人の空間）
- 4) 1～3の空間を結ぶ階段は「青空の階段」

※まれびと：人間の忘れたファンタジーを思い出させるために異界より訪れる不思議の人々（民俗学者 折口信夫の著書より）

●ふしぎ森●1階ギャラリー

～みんなで作るテーブル～

中国の田舎では、ひとりの客人のために、町じゅうの路上に長いテーブルを出しておもてなしをするそうです。

今回、段ボール製の「細長いテーブル」を全員で作ります。

この巨大テーブルは、ミュージアムに来てくれるお客さまをもてなすテーブルであり、参加者の「展示ブース」であり、

観客席でもあり、また舞台装置でもあります。

みんな床に座ってしまいましょう。だからテーブルは低くていい。

座る人の目線で、会場が見渡せるように。

壁を見渡せば、子どもたちが描いた「森」がみえるはずです。

2階から、たまに、シューターにのって、

仮面をつけた「まれびと」がやってくるかもしれません。

～いつも未完成、でもそれでいい～

みんなで作るテーブルのまんなか大きな「木」があります。

吹き抜け全体をおおうような枝ぶりです。

枝からぶらさがるいろんな、本物の果実、お菓子、葉っぱ・・・

最初に、

木の幹をぐるっと囲むようにカウンターをつくります。これだけはオトナの仕事。

みんな、必ずこのカウンターにつながるように

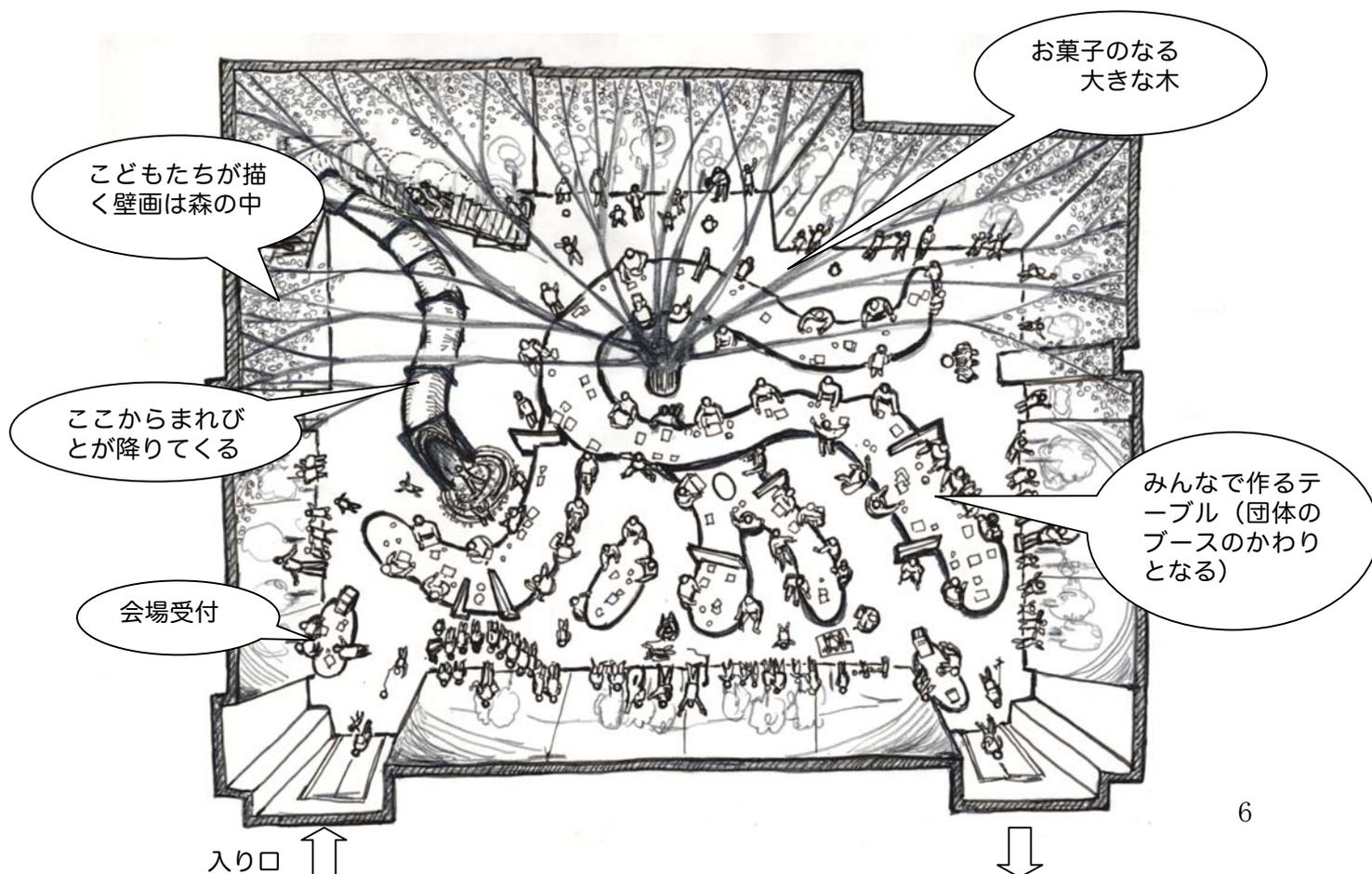
テーブルを継ぎ足し継ぎ足し作っていきましょう。木が枝をのばすように、
参加するグループは、
まず自分の座る場所を決めてから、段ボールを切ってテーブルをつくります。
作ることに参加できないひとのスペースは、子どもたちがテーブルを作ってしまう。

このテーブルのうち大人の座るところは、
自分たちの宣伝物の展示ブースとしてつかうことができます。
小さな区切り壁をたててもかまいません。

作る途中でた切りはしは、みんな捨てないで床に落ちている。それでかまいません。
来たひとは、誰でも、テーブルの一部を作って帰る。何か描いてもかまいません。
つくる道具と材料は、端に置いてあります。
いつも「工事中」。それでかまいません。

～子どもの領土～

夕方になると、舞台照明が灯されます。
この会場は、「子供の領土」のひとつのかたちとして、記録に残されます。
枝にぶらさがったお菓子、プレゼントは、最終日にみんなのおみやげとなります。



●雲の上のキッズ・カフェ● 中2階

11月の「こども・まち・アートのカ」ワークショップでは、子どもとオトナ、それぞれが、

「私の大好きな場所」「行きたい場所」「あったらいいな、こんな場所」を思い浮かべ、絵に描き、夢を語り合いました。

お母さんたちは子育てに少し疲れているようです。

オトナだけでゆ〜っくりできる場所がほしい。

でもやはり、子どもたちの安全を見届けられる場所がいい。

そんなイメージも実現したいので、このカフェを作ります。

いろいろなNPOのひとたちの活動記録が窓に映るようにします。

ここにブースを出してもかまいません。

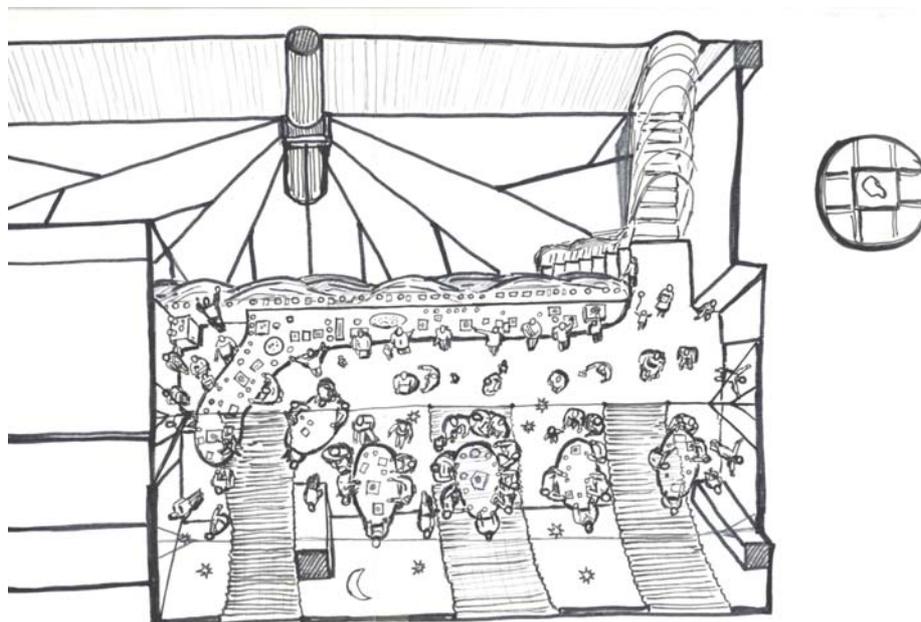
●まれびとの里● 2階ギャラリー

まれびと？って一体誰なんだろう・・・？

●青空の階段●

虹をわたり、雲をこえてそらへとつづく階段。

ここはまたあるときは「舞台」にもなります。おたのしみに。



中2階
キッズカフェ案

■ 2006 こども企画ワークショップ風景 ■

「こども・まち・アートのか」 2006.11.12

★自分たちが一番楽しいと思う夢のアイランドをグループで、目に見える形に描きました。



まず自分の夢の場所を頭の中に描き、それから絵にしました。みんなから出たアイデアをグループ毎に3つに絞り、3つの夢をそれぞれの島に貼って、相談しながらふくらませていきました。島の形や道も描いて、キッズアイランドが生まれました。

4年生までのグループ

5年生以上のグループ



大人のグループ



「こども企画会議」 2006.12.23

★自分たちの描いた夢を具現化していこう！



ダンボールで会場の模型をつくりました。どこに何をつくろうか？考えて、壁に絵を描いたり、写真を切り抜いて人の形をつくって立ててみました。紙に描いた夢を立体にしていきました。

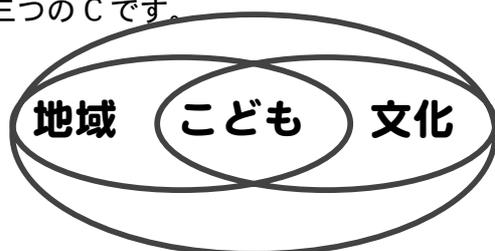
■プロフィール■

特定非営利活動法人 ZERO キッズ

東京都中野区のなかの ZERO 大ホールの開館記念事業（1993）をきっかけに結成。「そうぞう力（想像力&創造力）」をテーマに、音楽・演劇・ダンス・マイム・造形活動・自然体験などのワークショップにより五感をフルに使って、イメージと感動を表現につなげる教育活動を行う。2003年にNPO法人の認証を受ける。活動の集大成が3つの創作ミュージカル「森のふ・し・ぎ」（1998）「海のふ・し・ぎ」（2000）「そらのふ・し・ぎ」（2003）。楽譜、CDとなり全国の小中学校で活用されている。2005年第14回音楽教育振興賞（音楽教育振興財団／毎日新聞社）受賞。今後の目標は新たな創作ミュージカル（2009春予定）と、「そうぞう力」を育む教育・文化・ネットワークの拠点としてのチルドレンミュージアムの構築です。

ZERO キッズのホームページ <http://www.c-c-cnet.org> (C-C-C らんど)

C-C-CのCは、Children（こども）・Community（地域）・Culture（文化）の三つのCです。



Children（こども） **こどものパワーで**
Community（地域） **地域をつなぎ**
Culture（文化） **文化をつくる**

連絡先 TEL&FAX 03-5385-9068 info@c-c-cnet.org

<出版物>楽譜:「子どもたちと創る地球ファンタジー海のふ・し・ぎ」「そらのふ・し・ぎ SONG BOOK」(音楽之友社)、CD「海のふ・し・ぎ」(ビクターエンタテインメント)、CD「そらのふ・し・ぎ」「見えない翼」(自主製作)



■参加協力団体、個人の皆様へ■

- *ブース設営 できるだけ、自分のテーブルの設営（3/21）と一緒に関わってください。
 （全期間でなくても可、3/22,23 も可能です）
 →一緒につくる作業をすることから、つながりましょう！
 3/21 は、作業終了後の 6 時～交流会を予定しています。
- *展示物 パネル展示、団体のリーフレットを置く、著作物を販売など
- *実演、パフォーマンス 企画会議で時間と場所の調整をします。
- *参加資格 特にありません。芸術文化団体に限りません。こどもたちの未来を少しでもよくしたいと思う気持ちがあるならば、どなたでも歓迎いたします。
- *費用 ブース設営の基本的な材料費は当会で負担します。持ち込み資料などは各自で準備してください。販売や展示は自由です。
- *謝金 ブース、展示、実演者への当会からの謝金は原則としてありません。
- *説明会 2/25（日）午後 3 時～4 時 なかの ZERO 西館美術ギャラリー 1
- *その他 協力団体名は、イベント広報用のリーフレットに記載します。

参加申込書 （2/ までに、FAX、メール、郵送でお願いします）

団体名（個人名）	
ブース	希望する ・ 希望しない
設営（テーブルづくり）	参加できる（ 日 時～ 時）・参加できない
販売	する（何を？ ）・しない
パフォーマンス	する（何を？ ）・しない
	具体的に時間や場所などの希望があれば書いてください。
説明会	参加する ・ 参加できない
連絡先	〒 住所 電話番号 F A X Eメール 担当者：